

Vol.114
No.1
2023.7.4

農職組ニュース

茨城大学農学部
労働組合

第114期執行部です

2023年6月1日～2024年5月31日まで、どうぞよろしく願いいたします。

執行委員長 & 阿見事業場代表者 久保山 勉

この度、第114期農学部労働組合執行委員長をおおせつかりました。力不足で至らないこともあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。今期の副執行委員長内田晋先生、書記長中平洋一先生、会計池田真也先生、組合事務員の高橋絵理（タカハシエリ）さんと力を合わせて農学部の労働環境改善に取り組む所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

物価高、国家財政の歳出超過など国立大学をめぐる社会情勢は厳しい状況です。一方、新型コロナウイルスが5類に移行するなど流行前の日常が戻りつつあり、教育や研究における制約も取り除かれつつあります。また、新型コロナウイルス蔓延以降、デジタル・トランスフォーメーション化（DX化）がいろいろな場面で進み、教育の現場、労働環境も以前とは大きく変化しました。さらに、直近では生成AIが広く知られるようになり、今後、社会に大きな変化をもたらすことが予想されており、働き方にも影響があると思われます。

このような中、大学も様々な改革を行い、日々変化しています。実施してみて明らかになる不具合もあるかと思いますが。組合員の気づいたことを大学に伝えて修正すべき点は修正されるよう務めたいと思います。

今期も、期末勤勉手当等が、人事院勧告に基づいて実施されるよう、また、地域手当についてこれまでの合意が履行されるべく団体交渉を行いたいと思います。また、パートタイム・非常勤職員の雇い止めについても団体交渉を行い、問題解決を目指します。また、この数年間コロナ禍により活動を自粛・縮小していた行事もなるべく正常化していく予定ですので、みなさんのご参加をお待ちしております。

水戸事業所の労働組合から労働組合を全学で統合してはどうかという提案がだされています。教職員の人員削減、組織率低下の状況において現実的な選択肢として今期検討を行いたいと思います。また、事務職員の組織率は教職員の組織率に比べ大変低くなっています。原因の一つは、労働組合が事業所ごとに組織され、異動の度に組合を変えなければならないということが考えられます。この点についても統合はメリットがあると考えます。

最後になりますが、職場の労働環境を改善するにはなるべく多くの労働者に組合へ参加していただき意見をいただくことが重要です。現在、113期執行部の尽力のおかげで加入率40%となっています。今年度も組合員の拡充に努めてまいりますので、みなさまのご協力を今後ともよろしく願いいたします。

副執行委員長 内田 晋

副委員長を仰せつかりました内田です。執行委員を務めるのは7年ぶり2度目で、前は安江委員長と仕事をさせていただきました。その頃とは社会も大きく変わり、さらに今年度は光熱費の高騰が大学経営にも大きく影響してくるのではないかと懸念しております。そんな中、皆さんの労働環境を守り、また改善していけるよう、微力ながら努力してまいりますので、1年間よろしくお願いいたします。

書記長 中平 洋一

第114期の書記長を拝命しました中平です。組合の活動に本格的に参加させていただくのはこれが初めてですが、久保山委員長をはじめ執行委員の先生方と共に、みなさまの労働環境の維持・改善につながるよう、微力ながら尽力して参ります。よろしくお願いいたします。

庶務委員(会計) 池田 真也

第114期執行委員を拝命しました池田です。誠に微力ではございますが、農学部労働組合の会計状況および組合員の労働環境の改善に貢献したい所存です。組合員の皆様にご協力をお願いすることもあるかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。



新組合員のご紹介♪

4月に着任した坂口と申します。東ティモール国勤務、アフガニスタン国勤務、グアテマラ国勤務を経て、ついに常陸の国に辿り着きました。今までで一番住みよい国に思えます。末永く宜しくお願い致します。

地域総合農学科 土壌水管理学研究室 坂口 敦

第 113 期組合大会議事要旨

開催日時：2023 年 5 月 24 日(水)12:10～12:40 場所：農学部第一会議室

議長：上塚浩司先生 書記：長澤淳先生 大会運営委員：西川邦夫先生 出席者 過半数

1. 大会運営委員の西川先生より、組合大会の開会・大会成立宣言が行われた。
2. 第 113 期執行部の木下委員長より、大会の議長(上塚委員)と書記(長澤委員)の選出がなされ、承認された。
3. 第 113 期執行部の木下委員長より、祝電(中央労働金庫土浦支店 支店長 関 信行様)の披露が行われた。
4. 第 113 期執行部の木下委員長より、第 113 期の活動報告がなされ、承認された。
 - (1) 団体交渉の結果、令和 4 年 12 月期の期末・勤勉手当を 0.1 月引上げ、年間合計が 4.4 月することに合意した。
 - (2) 令和 5 年度の地域手当について 大学から令和 5 年度地域手当は、7%にするこの提案と令和 9 年度 4 月から本則通り 8%支給する旨の言及があった。大学は茨城大学教職員組合および工学部教職員組合からの合意条件を承諾し、3 地区共に特別付与休暇を 5 日とする提案をした。これにより、地域手当を 7%とすることで合意した。このことについて組合員より、地域手当 8%について実現可能なか、財政困窮を理由にまた反故にされる可能性はないのかという質問があった。この質問に対し 113 期執行部の木下委員長より記録に残し明文化したと回答がなされた。
 - (3) 「水戸、日立と阿見の 3 地区の連携を強化するために 3 地区合同の組合にしてはどうか」と茨城大学教職員組合から提案があったという報告がされた。
5. 吉田執行委員より、第 113 期の会計報告、西澤委員より監査報告がなされ、承認された。
6. 第 114 期の選挙報告と各委員の紹介がなされた。
 - (1) 監査委員 2名
 - (2) 執行部 4名
 - (3) 代議員 4名
7. 第 114 期執行部久保山委員長より活動方針案が提案され承認された。
8. 第 114 期執行部池田委員より予算案の提案がされ承認された。
 - (1) 繰越金が多いが何か考えがあるのかという質問があった。それに対し、人件費、環境改善などに充てる予定であると説明がなされた。
9. スローガンが提案され採択された。
10. 大会運営委員の西川先生より、閉会の宣言がなされた。

以上